

令和7年度CRIETOセミナー

AMED事業

「異分野融合型研究開発推進支援事業」

「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業」

参加無料

温故知新

～医療機器開発の変遷から未来を創造する～

2025年8月29日（金）10:00～11:40

会場：日本橋ライフサイエンスビルディング 10階1004

（東京都中央区日本橋本町2-3-11）

※現地開催およびweb配信(zoom)

「デバイスラグ時代の経験から何を学んだか」

東北大学病院臨床研究推進センター 池田 浩治 先生

「タウンホールミーティングがもたらしたもの」

福岡山王病院 横井 宏佳 先生

パネルディスカッション「デバイスロスの難題にどう立ち向かうか」

米国を中心に繰り広げられた低侵襲治療の発展、技術革新による医療機器の小型化が生み出した革新的な医療機器の開発ラッシュは、承認審査体制の整備が始まったばかりの我が国の医療機器規制を直撃し、2000年代前半にはデバイスラグとして社会問題化しました。この時代は医療機器の審査体制も今ほど整っておらず、科学的な審査も緒に就いたばかりで、治験環境も未整備な状況でしたが、保険償還価格は海外に比べて高かったため、革新的な医療機器を数多く持つ海外企業にとっても、革新的な治療を待ち望む患者にとっても、デバイスラグ解消は喫緊の課題でした。

2000年代後半にはデバイスラグは終息に向かうのですが、その要因は何だったのでしょうか。本セミナーでは、デバイスラグ時代の医療機器導入に携わった産官学の関係者を交え、デバイスラグ解消に何が有効だったか振り返り、日本の医療機器開発の歴史と現在を「温故知新」の視点を踏まえ、デバイスロス時代を乗り越えるための道筋をともに考察します。

お申込み方法：8/25(月)締切

下記URLフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/vPnQbyyEXxEpz4ah9>

お問い合わせ

kaihatsu.seminar.crieto@gmail.com



令和7年度CRIETOセミナー

AMED異分野融合型研究開発推進支援事業
AMED優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業

温故知新 ～医療機器開発の変遷から未来を創造する～

日時: 2025年8月29日(金) 10:00～11:40

場所: 日本橋ライフサイエンスビルディング10階1004会議室
(東京都中央区日本橋本町2-3-11)

座長:

東北大学病院臨床研究推進センター 鈴木由香
東北大学病院臨床研究推進センター 池田浩治

10:00～
10:25

「デバイスラグ時代の経験から何を学んだか」
東北大学病院臨床研究推進センター 池田浩治

10:25～
10:50

「タウンホールミーティングがもたらしたもの」
福岡山王病院 横井宏佳

10:50～
11:40

パネルディスカッション
「デバイスロスの難題にどう立ち向かうか」
パネリスト(五十音順):
石井健介 (医薬品医療機器総合機構)
池野文昭 (スタンフォード大学)
川原一夫 (ボストンサイエンティフィックジャパン)
北沢孝一 (株式会社 モアイ)
坂井信幸 (清仁会シミズ病院)
中井清人 (医薬品医療機器総合機構)
望月修一 (山梨大学)
横井宏佳 (福岡山王病院)